

城取博幸の

極東ロシア ハバロフスク、ユジノサハリンスク、ウラジオストクの
スーパーマーケット見聞録

NO 80

2016年8月

城取フードサービス研究所

城取 博幸

ハバロフスクの概要

- ・立地： アムール川河岸に開かれた極東ロシアの中心地
- ・人口約60万人（2014年）
- ・姉妹都市： 新潟市
- ・日本との関係： 日本人墓地 ソ連軍に抑留された約300名の墓と慰霊碑
平和慰霊公苑 シベリアで亡くなった約6万人もの日本人抑留者の慰霊碑

ユジノサハリンスクの概要

- ・州都： サハリン州の州都
- ・立地： サハリン南部の平野の先端
- ・人口： 約20万人（2014年）
- ・姉妹都市： 函館市、旭川市、稚内
- ・日本との関係：
「旧豊原」 日本統治時代（1904年～1945年）まで樺太庁が置かれた
日本時代の建物がいまだに点在している
サハリン州立郷土博物館（旧樺太庁博物館）サハリン州立美術館（旧拓銀）日本人墓地
第二次世界大戦後は、ロシア（旧ソ連）の支配下に置かれている
近年は、地下資源開発などの「サハリンプロジェクト」で好況を呈している

ウラジオストク

- ・立地： 日本海沿岸に位置するシベリアの玄関口 中国や北朝鮮とも国境を接している
- ・人口： 約60万人（2014年）
- ・姉妹都市： 新潟市、秋田市、函館市
- ・日本との関係：
1876年に「日本政府貿易事務所（領事館）」が置かれ、シベリア鉄道敷設のための日
本人労働者も多かった。日本人街も形成されていた
1922年、ロシア革命により日本軍が撤退し、赤軍により支配された

ロシア極東 3 都市に行ってきます

成田空港のイベント

空気を入れた風船のようなつくり



機関車トーマスを置いて子供たちを遊ばせている

都会の子供はまだ夏休みだ

日本円をロシアルーブルに両替する



日本円→世界各国14通貨		OUR SELLING RATE
USD	アメリカドル	¥102.54
EUR	ユーロ	¥118.83
AUD	オーストラリアドル	¥85.18
NZD	ニュージーランドドル	¥78.30
ロシア14通貨		
EUR	ユーロ	¥118.83
GBP	イギリスポンド	¥143.79
CHF	スイスフラン	¥108.83
SEK	スウェーデンクローナ	¥14.26
NOK	デンマーククローナ	¥17.54
NOK	ノルウェークローナ	¥14.53
CZK	チェココルナ	¥4.95
PLN	ポーランドズロチ	¥31.59
HUF	ハンガリーフォリント	¥0.40
RUB	ロシアルーブル	¥2.05
世界各国14通貨→日本円		OUR BUYING RATE
USD	アメリカドル	¥97.79
EUR	ユーロ	¥109.46
AUD	オーストラリアドル	¥87.18
CNY	中国元	¥13.29

円→ルーブル 1円→2.05ルーブル

再両替すると、1.05ルーブル→1円

すなわち、1万円をルーブルに両替して、その場で、ルーブルを円に再両替すると5000円になってしまう

14時25分発のシベリア航空(S7)でハバロフスクへ向かう

成田→ハバロフスク→ユジノサハリンスク→ウラジオストック→成田の予定だ
残念なことに帰りの予定日9月1日は、台風がハバロフスクを直撃するようだ
ロシア人の男性空港スタッフに聞くと「大丈夫です」とスマホの天気図を見せてくれる

13:50	上海		MU524	C
			JL5601	C
14:25	ハバロフスク		S7568	R
			JL7097	R
14:30	台北		CI101	H
14:40	セブ		PR433	A
			HH5323	A
14:45	上海		JL877	POOM
			MU8762	POOM
			CZ4861	POOM
14:55	高雄		CI103	H
			DL7726	H

ロシアではパスポートを常に携帯せねばならないとのことで、柄にもなく、首から下げるパスポートケースを購入

極東ロシアは蚊が多いらしい

スプレー式は機内持ち込みが面倒なので、ウェットティッシュタイプにした



ユジノサハリンスク(樺太)は「宮沢賢治」ゆかりの地

著書「銀河鉄道の夜」は樺太の影響を受けている

また、「君死にたもうことなかれ」で有名な「与謝野晶子」は、ハバロフスクともゆかりがある

シベリア航空は、JALと同じ「ワンワールド」に加盟しているため、JALのラウンジが使える
このシーズンはガラガラ



成田さくらラウンジ名物の「ビーフカレー」

コーンの「冷製スープ」



「冷やしうどん」



「クロワッサン」と「サンドイッチ」



まず、「ビーフカレー」「スープ」「サラダ」をいただく
カレーは、前に比べて味が変わったような気がする



少し時間を置いて「冷やしうどん」と「てまり寿司」をいただく
こうして食べるのも仕事のうち

それでは、ハバロフスクに向かいます

ハバロフスクにいます

成田～ハバロフスク シベリア航空は黄緑色の機体

機種はエアバス



機内食

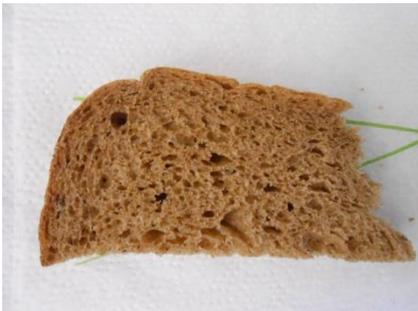
チキンのチーズ焼きだが殆ど味がついていない

トマトケチャップをかけるということ

1切れの黒パン

マカロニは残したが、黒パンはゆっくりと味をかみしめていただく

シベリア抑留者は、一切れの黒パンで生き延びた



湿地帯を過ぎればハバロフスク国際空港だ

成田→ハバロフスク→ユジノサハリンスク→ウラジオストック→成田の予定



無事到着

空港は撮影禁止であるため、車中から撮影

日本人がよく利用するインツーリストホテルに到着



アムール川の夕日



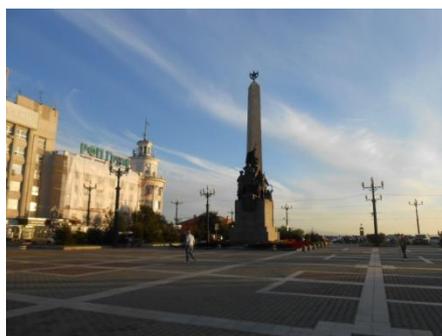
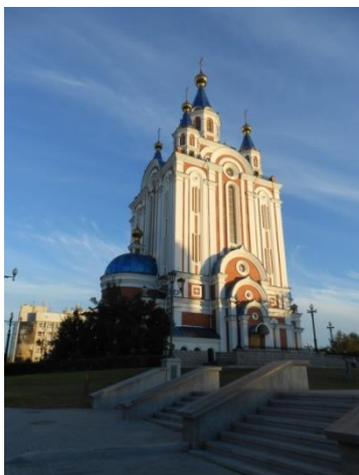
ネット環境が非常に悪いため、時々切れてしまう

残念ながら今日はここまで

明日は、生鮮市場、スーパーマーケット、デパートを視察する予定

ハバロフスクのスーパーマーケット

ハバロフスクのランドマークは、アムール川沿いに立つ「ウスペンスキー協会」



ロシアの食品小売業の主要な店舗形態

ロシアの調査会社「Step by Step」はスーパーマーケットをその販売形態やコンセプトにより、①ディスカウントショップ、②中規模スーパーマーケット、③ハイパーマーケット、④キャッシュ&キャリアー、⑤住宅型店舗の5つに大別し、以下のように定義している。

「ディスカウントショップ」とは、安価な商品を取り扱うセルフサービスの店舗で、売り場面積は300～800㎡、品目数は800～2,500となっている。都市部に多くの店舗を抱えるピャチョーラチカなどは、①生鮮食品の割合を増やす、②照明システムの改善、③冷蔵設備の改善といった措置を講じ始めている。

「中規模スーパーマーケット」とは、中もしくはそれ以上の価格帯の食品や生活用品を中心に扱う店舗で、売り場面積は500～3,000㎡、品目数は2,500～3,500以上となっている。X5傘下のペレクリョーストクなどが、このタイプの舗を積極的に展開している。商品の価格は全般的にやや高めであるが、それなりの高級感があるので、都市部では最近になり来客数が全般的に増加する傾向がみられている

「ハイパーマーケット」とは、売り場面積3,000～4,000㎡を超える店舗で、食品の他に多様な生活用品を取り扱っており、品目数は2万5,000～5万に達する。チェーンによっては、大量買い付けと商品の回転率のよさを武器に、ディスカウントショップよりも低い価格で、しかも良質な商品の提供に成功している。

「住宅型店舗」とは、共同住宅の1階部分、もしくは、共同住宅に隣接するエリアで営業している中・小型店舗のことを指す。中小企業や個人事業主が運営しているケースが多いというのが、このタイプの店舗の特徴だが、中規模スーパーマーケットやディスカウントショップとの区別は必ずしも明確ではなく、統計上は中規模スーパーマーケットやディスカウントショップの範疇に含まれることが多くなっている。

出所:「ロシアの食品スーパー業界に変化の兆し」より一部抜粋

ロシア NIS 経済研究所 部長坂口 泉氏

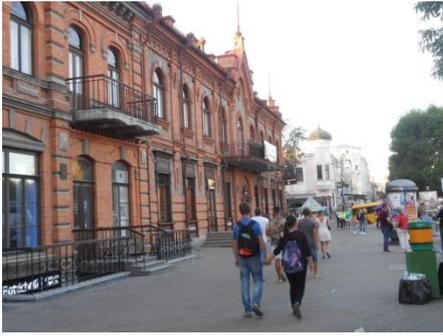
http://db2.rotobo.or.jp/members/all_pdf/m201302No.02ejw.pdf

ハバロフスクの「サッポロスーパーマーケット」

協会広場を拠点に、アムールスキー通りがハバロフスクの繁華街だ
通りを進めば左に「サッポロホテル」

サッポロホテルといっても日系ホテルではない

一等地に立つ歴史ある建物だ



スーパーマーケットの入口

入口から、くだもの、野菜売場は変わらないが、品数が少ない
日本のような粒のそろった物は期待できない



野菜の次がヨーグルト、乳製品売場

牛乳は袋入りだ

この牛乳の乳脂肪分は 3.2%

グラス(牧草)で育てた乳牛の乳脂肪分は、イタリア、モンゴル、ロシアでも同じであった



鮮魚、精肉売場

ロシアでも「生鮮市場」があるので、スーパーの肉や魚の品揃えは貧弱だ
生鮮市場を見ないとその国のマーケットはわからない
日持ちのする加工品が殆どだ
魚の燻製と乾物



その代わりハムやソーセージ、チーズは豊富

品揃えは、5月に行ったモンゴルのスーパーマーケットとよく似ている

北朝鮮、中国とも国境を接しているため、韓国料理や中華料理の食材がよく揃えてある

惣菜売場は対面の量り売り

ロースト陳以外は全て冷蔵保存 ローストチキンも余れば、サラダやグリルに使われる



サラダ

中欧(ハンガリー、チェコ、ポーランド)と同じようなメニューだ

パック売りコーナー

チルド弁当も品揃えされている



繁華街立地であるため、酒、飲料、菓子を拡大

購入商品

これだけ買って、日本円で約 2000 円

日本の物価とそれほど変わらない



注目のチルド弁当(アウトパック 前日製造)

トップシールであるが、MAP包装かどうかは分からない(賞味期限未記入)

ご飯の上に、レバーハンバーグとビーフハンバーグを載せたもの

付け合わせは、わらびと人参の炒め物

ハンバーグが少しヌルッと、ご飯は芯がある

ご飯炊きもちよとした技術で変わるのになあ



チキンのポテトフライ

細かく切った鶏肉を、ポテトと小麦粉で揚げたもの

これは完食

ビーフハンバーグかつ



中にわらびが入っている

味付けはほとんどなし

じゃがいもと人参のサラダ



スライスポテト、挽肉、スライス人参、カッテージチーズの順にサンド
これも完食

いつもの「塩にしんのオイル漬け」



密閉容器ではないので、どこまで鮮度を信用してよいのやら

黒パン(ライ麦パン) ライ麦の香りがいい



昔懐かしい「バタークリームのケーキ」
たまに食べるとおいしい

ロシア産の柿？

一足先に、「新物をいただこうと〜」



な、なんと渋柿であった

ロシアにはウオッカがあるので、振りかけておけば「渋ぬき」できるのだが
残念！

相変わらず、爆食いをしています

明日は、生鮮市場とデパートに行く予定

ハバロフスクの生鮮市場

ハバロフスクはもう秋に向かっていく

8月だというのに「ナナカマドの実」が赤くなっている

台風の影響で気温も低く、風も強い

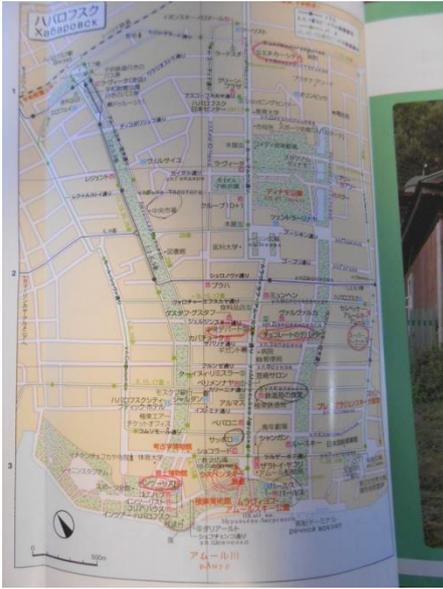
人々は冬のコートを着込んでいる



今日は市内を歩いて「生鮮市場」と「デパート」に向かう

広場を拠点にひたすら北に向かって歩く

エヌカーデパートまでは歩いて1時間くらいかな



ヨーロッパ風の建物が続く

8月なのに気温は13℃ と寒い
帰りは18℃まで上がった



「レーニン広場」の手前の道を左に曲がる
下り坂が続く

さらに右に曲がると市場が見えてくる



入口は衣料品市場

ブランド物が異常に安い 中国製か北朝鮮製か？
異様な雰囲気なので入るのを止める

野菜市場

ハバロフスクの人口60万人 その胃袋を支える
屋台らしきものは見当たらない



花売場のアレンジ花

野菜売場

殆ど日本で見かけるものと変わらない
特徴はビートくらいかな



薬草をアルコールに漬けたもの
「中医学」「韓医学」の影響を受けているのか

蛇をアルコールに漬けたもの



肉、魚売場は改装中なのか定休日なのかで休み
掃除を徹底的にやっている 臭いはない衛生的だ
今回見られなくて 残念！



ヨーロッパでよく使われている冷蔵陳列ケース
デザインが日本の物に比べてオシャレだ
客が荷物を床に置かないよう、荷物置場があるのが親切だ

雑貨通り



釣り具屋

アムール川の釣り用か 余談だが、アムール川は中国から流れてきているため汚れている
ホテルの風呂の水は茶色に濁っている 水道水は絶対に飲まないほうがいい
歯磨きの水もペットボトルを使ったほうがいい

あまり見る物がないので、本通りに戻り、エヌカーデパートへ向かう
途中のディナモ公園正門



建設ときに、「日本人抑留者の書き込みが見つかった」とガイドブックに書かれているが、どこを見ても見つからない
たぶん建物内部だろう

花びらが8枚なら意味があるが、7枚だ
よくある模様



スナックスタンドのピロシキメニュー
通りには多くのスナックスタンドを見かける



小麦粉を使ったメニューが多い

スタートから1時間30分歩いてエヌカーショッピングセンターに到着
道沿いに歩けば左側にある

HKと書いて「エヌカー」と読むらしい

素晴らしい食品売場に感動！

特にデリカ売場はスゴイ

ロシアの「ミール・ソリューション」は選考になる

わざわざ歩いてきただけの価値があった

ハバロフスクの「HK(エヌ・カー)シティショッピングセンター」

HKシティショッピングセンター

広場から直進すれば、ゆっくり歩いて1時間ほどの距離にあるショッピングセンター



左側のドーム状の建物はファッションビル

右側のビルには北海道発チョコレート専門店「ROYCE」が入っている

「ROYCE」は、インドのニューデリーのSCでも見かけた「ローカル グローバル企業」

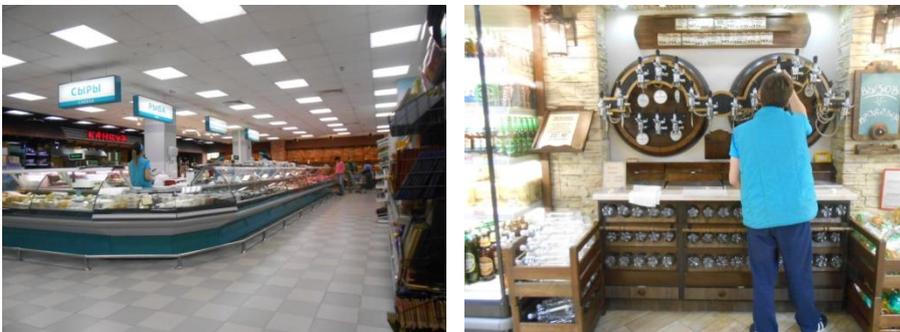
ローカルでありながら海外出店に積極的だ

奥に見える冷蔵庫はストック用か

1階と地下1階がスーパーマーケットになっている

1階の「口の字」型対面のデリカ売場が素晴らしい

ロシア料理のすべてが売られている 寿司売場もある



1階はデリカ、酒、菓子

ビールサーバー スタッフがビールをペットボトルに詰めている

10種類以上のサーバーがある これは日本にも欲しい

地下1階は、青果、精肉、鮮魚、ドライ食品、雑貨売場

通路は少し狭め



鮮魚と精肉の対面売り場はスタッフ1人
生鮮市場の影響か、それほど品揃えは豊富ではない
漬け魚や漬け肉が多いということは、あまり動いていない証拠だ

その代わり冷凍食品、ドライ食品の品揃えはよい



冷凍魚 袋詰め簡易包装

冷凍中華点心



缶詰売場は見事
缶詰、瓶詰は珍しい商品が多い
見ているだけで楽しい

スパイス売場

カラフルなスパイスの詰め合わせも
やはり、ドライ商品、雑貨の品揃えがいい店は、つい時間を忘れて長居してしまう

1時間半ほど店にいた



購入商品

雑貨を含めて、これだけ買って約3000円

日本より少し安いかな

チーズの盛り合わせプレートは実にオシャレだ

これはNO1 5パターンくらいまである

トップシール MAP包装かな



中はカットされた4種類のチーズとナッツ、クラッカー

中心部分は？

中心はカップ入りの「はちみつ」

こうした商品のアレンジが素晴らしいし、気が利いている

日本でも欲しい商品



インスタパックのスライスサラミ

対面反販売なので「3枚ずつ5種類」と注文しようとしたが
女性スタッフが迫力があまりすぎて躊躇してしまった
結局、パック詰めのを購入 盛合せが欲しかった

缶詰は缶の写真を見て購入

ハム、ソーセージなどの肉類は日本には持ち込めないが、缶詰はOK
モンゴルから帰国したとき成田で肉類は没収された
専用の犬がいるから注意
犬が肉類を見つけると、スタッフは「グッド ボーイ」と言って褒める
すなわち「バッド アンクル」という意味だ

魚介類の缶詰



馬肉の缶詰

羊か山羊の缶詰



うさぎの絵がかいてあるぞ

雑貨が面白い

カバロの鍋つかみ(オーブングローブ)

こうした雑貨を見ているだけで楽しい



ビンの蓋を開けるとき使うゴム
どのサイズでも使えるようになっている
瓶詰が多い国の必須アイテムだ

ピロシキ



ピロシキの中身は肉だけではない いろいろなものを詰める
中は「ラタウイユ」のような野菜の煮ものが入っている
これはおいしかった

クレープ巻き

これも具がたっぷりで価値があった



外はフワツとして、中はスライスチキンと野菜がたっぷり入っている
トルティーヤのようなモソモソ感はない 満足感あり 以上、ハバロフスクの特集は終わり
台風の心配がありますが、
明日は、「ユジノサハリンスク(樺太)」に国内線で向かいます

ハバロフスクからユジノサハリンスク(旧樺太 豊原)へ

無事日本に帰国していますが、レポートを続けます

安倍首相が本日ウラジオストックに向かい、プーチン大統領と会見予定

1日日程がズレていたらそこに出くわしたかも知れない

今、極東ロシアが資源開発で注目を集めている

航空会社S7でハバロフスクからユジノサハリンスクへと向う

飛行時間は1時間ほど、東京から広島くらいの距離だ

台風の影響で揺れたが無事に到着

ユジノサハリンスクは、日露戦争後約40年間日本の領土であった

ユジノサハリンスクの人口は約 18 万人

最近「サハリンプロジェクト」地下資源開発で景気がいいようだ

今回の宿泊はガガーリン記念公園近くのガガーリンホテル



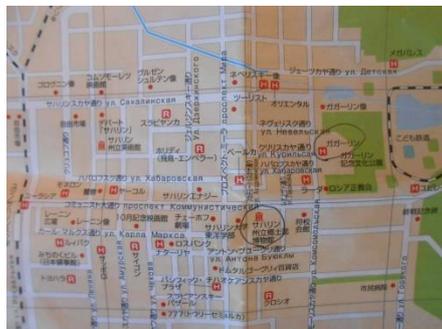
最近改装されたのかセンスがいい

ネットもよくつながる近代的ホテル

フロントでも英語が通用する

テーブルに置かれている菓子やコーヒー

殆ど有料だ

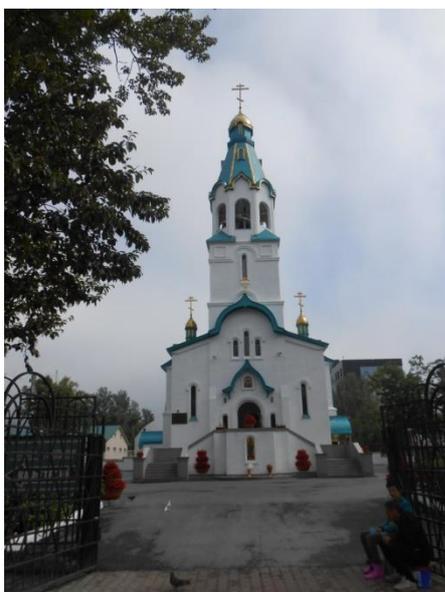


半日しか日程が取れないため、早速市内探索

ホテルを出て、コミュニスト大通りをユジノサハリンスク駅に向かい、サハリンスカヤ通りを戻る予定だ

3時間から4時間コース

ホテルを出て左に進めばロシア正教会



その角を曲がり「コミュニスト通り」を進む

しばらく歩くと、左に「サハリン州立郷土博物館」

旧豊原の「樺太庁」の建物だ

今回の旅で一番訪れたかった場所

今は市民の憩いの場となっている

内部は後で詳しく特集します



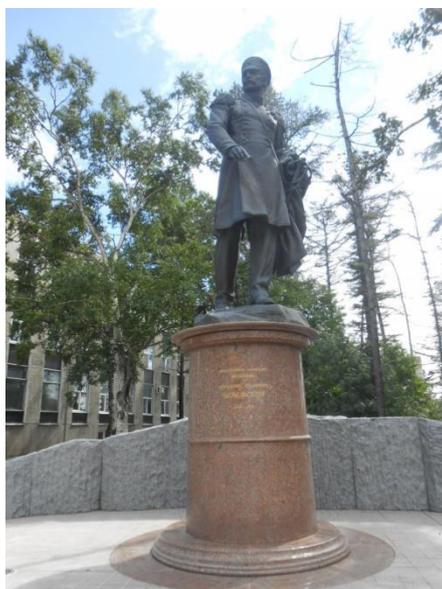
こんなアングルからも

こんな時代もあったが、今は平和そのもの

ロシアは怖いイメージがあったが、それは全然感じない

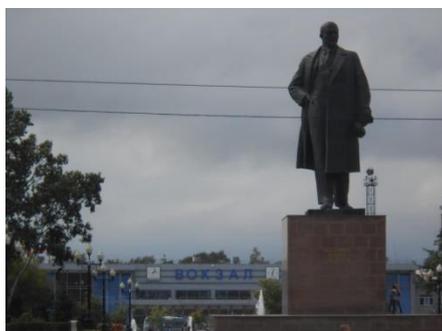
ユジノサハリンスクは治安もいいらしい

サハリン大学



さらに進むと「チーホフ像」

チーホフ劇場



さらに歩くと「レーニン広場」と「レーニン像」 奥に見えるのが「ユジノサハリンスク駅」

レーニン広場

キレイな花が咲いていて、ここも市民の憩いの場

観光客はまだ少ないが、いい街だ



駅の近くには日本時代の「D51機関車」が保存されている

戦後使われたのか、ロシアのマークが付けられている



駅構内には「蒸気機関車」が展示されている



鉄道マニアではないが、たぶん日本製の小型蒸気機関車
農業用などに使われたものか
どこの物か分らないが、ラッセル車



日本の電車



「架線注意」の旧文字が見える



こんな寂しい道を鉄道に沿って歩く
夜は歩かないほうがいいかも知れない



自由市場が見えてくる
庶民の市場だ



花が売られている

9月1日はロシアも新学期がスタートする

新学期には生徒が先生に花を送る習慣があり、街中の花がなくなるらしい

サハリンスカヤ通りをガガーリン公園に向けて戻る



途中でスーパーマーケットを発見
ここで1時間ほど店を見る
店の視察も歩き通しであるため、かなり疲れる

ガガーリン像

旧ソ連で初めて宇宙に行った人



公園にはこんな日本語の「石碑」も
「宮西 豊 桜並木通り」と書かれている
たぶん平和を祈り、桜を植えた人だろう

ホテルに戻る

ホテルには「北海道」の宣伝ポスター
これから日本との交流もさらに深まるだろう
日本往復の航空便はどちらも満席であった



歩きだけで4時間コース

今回は下調べの時間が取れなかったなので、後でまとめます

次回は、「サハリン州立郷土博物館」を報告します

ロシアサイドで展示されているため、期待した日本に関する資料は乏しい

サハリン州立郷土誌博物館

1937年に大日本帝国が旧樺太豊原市に「樺太庁博物館」として創立した
今でもユジノサハリンスクのランドマークとなっている



「樺太の戦い」(1945年8月11日～8月25日)

8月15日に日本の「ポツダム宣言」受諾で、太平洋戦争は休戦に向ったが、樺太では、8月9日に「日ソ不可侵条約」を破り、対日参戦したソ連との自衛戦闘を行った

その戦いは8月25日まで続いたが、その後日本軍は降伏し、武装解除を行った

当時樺太には40万人以上の民間人が居住して、北海道へと疎開が始まったが、ソ連の潜水艦による攻撃で多くの民間人が犠牲になった

生き残った日本兵はシベリア捕虜収容所に送られ強制労働を課せられた

外には戦争当時の大砲が置かれている



入口に扉には「菊の紋章」

中の階段

戦前の日本の建造物は作りが殆ど同じ
建物中央に階段を設置



日本的な天井
よく保存されている

内部の様子

入館料は、写真撮影可で100ルーブル

樺太の歴史



恐竜の化石

竪穴式住居のジオラマ

人骨



アイヌとの関係

アイヌの衣装

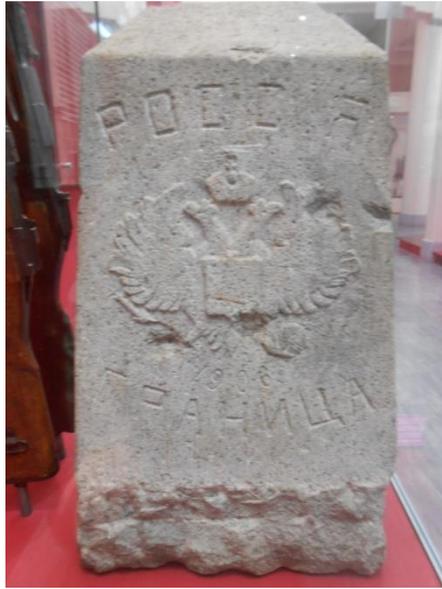


日本時代

日露戦争後、樺太 ソ連との境界の石碑

日露戦争後、北緯60°に、日本とソ連境界線が引かれた

「大日本帝国 境界」と書かれている

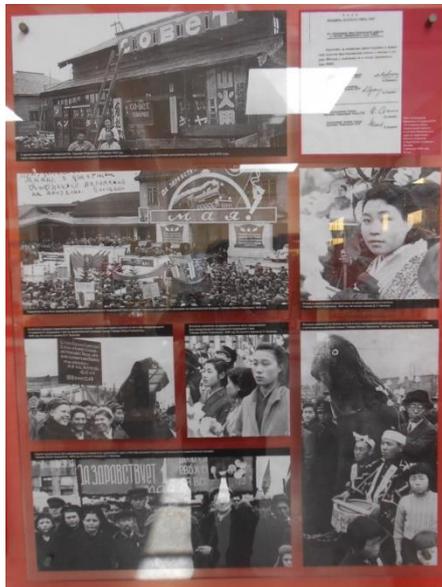


裏側はロシア語になっている

豊原の地図

街づくりは札幌をモデルにしていた

今とほとんど変わらない



日本統治時代の写真

現在の人口は20万人

日本時代は40万人が居住していた

悲しい歴史が残っている

当時の生活用品



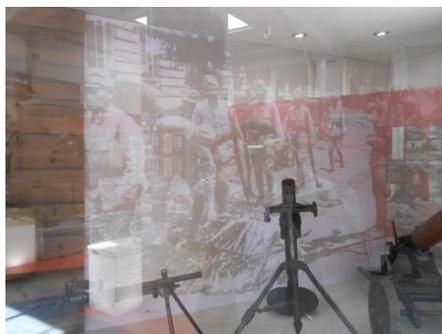
精工舎の柱時計



ヤマハオルガン

「ヤルタ会談」

左から、ソ連スターリン アメリカトルーマン イギリスチャーチル
戦後処理が話し合われた会議の写真



武装放棄～終戦

太平洋戦争では、ソ連極東では戦闘がなかったため、ポツダム宣言受諾後も日本軍はそのまま温存されていた

ソ連が参戦後、数日して日本軍は降伏

奥は武装放棄の写真

武器は殆ど使われることなく新品のままが多い

入口から逆に見た景色



現在はロシアの博物館であるため、ロシアに都合の悪い「シベリア抑留」などの資料は展示されていない

それにしても、戦争していない国の捕虜となり、強制労働させられ死亡した人々の気持ちを考えれば、納得がいかないような気がする

現在もロシアとは「平和条約」が結ばれていない

二度と同じことをしない

恒久平和を祈る！

ユジノサハリンスクはいいところです

日ソの開発計画が進みさらに発展することでしょう

ユジノサハリンスクのスーパーマーケット

ガガーリンホテル近くのスーパーマーケット

店の大きさは約500坪ほどのスーパーマーケット業態



入口は野菜、くだものは変わらない

野菜は丁寧にラップ包装されている

次は乳製品コーナー

通路は広めに確保している

ドライの飲料はハイゴンドラを使用



カットセミハードチーズのバラ販売

店内でカット、ラップ包装しているようだ

日本の飲料コーナーもある



生肉、生魚の品揃えは限定的 それにしても少なすぎる

サーモンのオイル漬け

魚の酢漬けやオイル漬けの品揃えが多い



真空パックの加工肉

デリコーナーは充実

かなりの売場を確保している これは今まで見たスーパーに共通点

極東ロシアのスーパーはデリは充実しているが、生魚、生肉の品揃えは貧弱



「冷蔵対面販売」のメリットは、日日表示が必要ないため、日持ちのするものは数日間販売できる

トレーパックしてしまえば賞味期限の表示が必要

すなわちロスが少ないことだ 日本の惣菜のロスが多いのは、「常温販売」と「パック販売」が原因
売られているものはロシア料理と中華料理

フリッター(小麦粉とたまご)揚げが多い



サラダは野菜のコールスローとピクルス

魚のスモーク

炙って食べるのだろう これが意外とおいしい



冷凍商品売場 簡易包装が多い

肉の冷凍インスタパック

ロシアでは煮込み料理が多いため、冷凍肉がよく使われるようだ



購入商品

ここでも約3000円購入

ユジノサハリンスクは地形的に半島であるため、商品は他から移動しているため、物価は高いという

あったらいいなと思った商品

スモークサーモン、紅鮭スモーク、スモークカレイ？の詰め合わせ

これは日本にもあってもいい



チョコボール付きヨーグルト

チョコの中はクランチ



ヨーグルトの上にトッピング ハードヨーグルトで少し甘め

ミンチ肉を衣で揚げたもの

衣はたまごと小麦粉を水で溶いたもの



中には牛肉がギッシリ詰まっている
ボリュームがありすぎて食べきれない

ジャンボ焼き鳥

これもボリュームがある 焦げ目はないが柔らかく焼いている



酢豚

パプリカを多く使用

肉も野菜も大きなカット なかなか味付けも上手だ



中華まん？



思った通り中華まんだ
キャベツの千切りを使っている

ピロシキ



これは「焼きタイプ」
中はポテトサラダ

ロシアのデリは、日本と同じように「揚物」が多い

「ピロシキ」は油で揚げたものと、オーブンで焼かれたものがある

さらに、中華まんが加われば、具の入った粉物の品揃えが広がる

これは、日本のデリカの品揃えにも参考になる

空港近くの大型ショッピングセンター

空港に向かう途中に見える、ユジノサハリンスク最大の近代的ショッピングセンター



道路沿いのスーパーマーケット

ユジノサハリンスクからウラジオストックへ

S7でユジノサハリンスクからウラジオストックへ

台風の影響で飛行機が飛ぶかどうか心配であった

自分としては飛ばないほうが、滞在が長引いて得するのだが

現地の旅行社のガイドが心配してホテルまで迎えに来て、空港まで連れて行ってくれた

今回は、日本の旅行社に、「航空券」「ホテル」「送迎」のみを依頼

後は自由行動だが、旅行社が心配して手配してくれたようだ

感謝！ 感謝！

どうにか飛びそうである

黄緑色の飛行機がワンワールドに加盟しているシベリア航空S7



エアロフロート航空

アライアンスは「スカイチーム」

機内食

「チキンサンド」か「チーズサンド」を選択

チキンサンドをお願いする

食パンが固い



通路側の席をリクエストしたら、一番後部席

隣の2人は、赤色のバッジを付けた人

窓側が上司らしい

ロシア語の雑誌を読んでいる

カバンには「JAPAN EXPRESS」と書かれている
国境を接しているため極東ロシアにはけっこう多い

迎えに来た車に乗り、ホテルに到着



格式高いホテル

しかし、シングルルームは、シティビューで部屋は狭い



時間が半日しかないので、さっそく市内探索

ホテル～ウラジオストック駅～アレウツカヤ通り～バスターミナル～クローバーハウスショッピングセンター～中央広場～潜水艦博物館～ホテルのコース

台風の影響があり、所によっては道が川のようにになっている



レーニン像

ウラジオストック駅

シベリア鉄道の出発点 モスクワまでつながっている

建設当初は日本人の出稼ぎ労働者も建設に加わったようだ



車が多い割には意外と空気が汚染されていない

その理由は、日本車が90%以上だからだ

建物内部

荷物検査があるため、ここまで

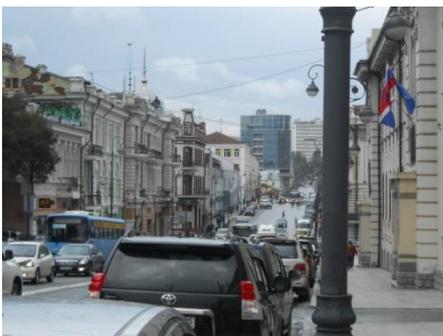


長距離列車

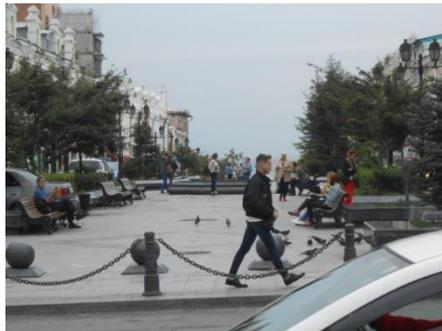
杉原千畝が救った6000人のユダヤ人の一部はこの駅に到着し、船で日本に向かった
歴史ある駅だ

アレウーツカヤ通り

古いヨーロッパの匂いがする



美術館



観光客でにぎわうフォーキーナ通り

道を挟んだ繁華街



クローバーハウスショッピングセンター
バスターミナルの目の前

最上階のフードコートで韓国料理をいただく

海戦焼きうどんを注文

コーヒーを付けて510ルーブルだが、「10ルーブルをもっていない」というと、500ルーブルにまけてくれた

日本円で1000円 日本と同じくらいかな



こんな席で金角湾を眺めながら

左のスクリーンはマクドナルド



焼きうどんはあまり辛くはないが味が濃く喉が渇く

左奥の芋の天ぷらと沢庵がうれしい

天ぷらはタルタルソースで食べるようだ

下はシベリア鉄道の線路



地下には巨大なスーパーマーケット
後で報告します 中央広場へ向かう

雨が降り出したので、急いで潜水艦博物館へ
道路は水浸し



潜水艦博物館

中が博物館になっている

これが、樺太からの引き揚げ船を沈没させたのか？

アメリカ製、中国製の潜水艦を見てきたので、ソ連製も見ておかないと
次回報告します

奥はアンドレイ協会

1941年「モスクワの戦い」

独ソ不可侵条約を結んであったが、10月2日より、ドイツ軍によるモスクワへの攻略戦「タイフーン作戦」によって行われた戦闘

12月5日、モスクワ攻略失敗で終了



永遠の火

港 軍艦が停泊しているため、あまり近づいてウロウロしていると、日本に帰れないかも

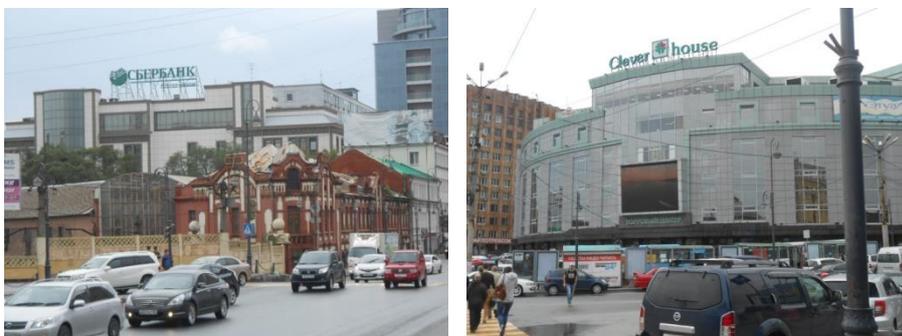


軍艦をよく見ると、後部に対潜水艦用落雷の発射口が、合計12本もついている
あまり書くと、出禁を食らうかも
あまり深入りしないほうがいい

なにせ今回の旅行は駆け足で、ユジノサハリンスク、ウラジオストックとも半日しか時間が取れなかった

市内探索、スーパーマーケットの視察と効率よく歩かないないといけなかった
徒歩での移動であるため、体力的にも限界がある
4時間くらいの行動となる

クローバーハウスショッピングセンター



ウラジオストック駅から、アレウーツカヤ通りを直進すれば、左にバスターミナルが見えてくる
その奥がクローバーハウスショッピングセンター
中は日本の古いGMSのイメージ

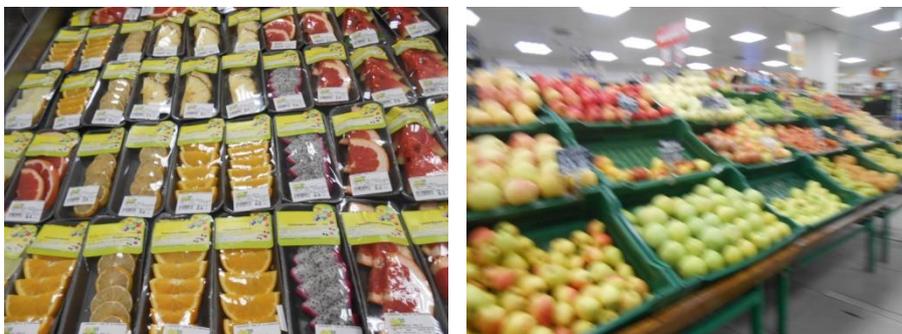
その地下にスーパーマーケットがある

極東ロシアですでに3店舗スーパーマーケットを視察してきた

カットフルーツ売場

インスタ製造だが、よく見るとあまり鮮度はよくない

輸入品であるため仕方ないかもしれない



リンゴはロシアでも採れる

ここも、生肉、生魚の品揃えは少ない
魚の加工品



酢漬け、オイル漬けのたぐい
包装形態は深絞りパック

ユニークな瓶詰
イクラとサーモンフレークの瓶詰



ここもデリカの品揃えが豊富

ローストチキンは安い
ローストレッグ36ルーブル(72円)、大47ルーブル(94円)
丸は100g27ルーブル(54円)
2kgサイズでも1080円程だ



煮込み料理
ホットケースで陳列

100g当たり49ルーブル～54ルーブル

炒めもの

23ルーブル～58ルーブル



コールドサラダ

54ルーブル～59ルーブル

プリペアーズフード

生ソーセージ、ハンバーグ、味付け肉、フライ類



スモーク魚のロースト

日本ではなじみがないが、これはおいしいはずだ

今後、狙える調理法

トルコで食べた、麺状のチーズ



寿司もある

フィルムおにぎり 82ルーブル(164円)と高め



別の場所にホットバイキングのコーナーもある
かなり強烈なデリカ売場だ

パン売場

パンは31ルーブル～69ルーブル



ドライ食品売場

陳列は日本と変わらない

カップ麺も充実している

カップヌードルシーフード159ルーブル

辛ラーメン 77ルーブル



菓子売場

ロッテの「チョコパイ」小 80ルーブル 大148ルーブル

他の菓子メーカーも頑張してほしい



購入商品

イートインスペースがないため、デリカの購入は諦めた
魚のオイル漬け「つま缶」のチルドバージョンのようなもの
日本でも成長が望める商品



ターキーの缶詰

缶詰コレクションに追加しておこう

おなじみのロシアを代表するチョコレート

特売で200円程

カカオ比率は低い



ロシア極東3都市のスーパーマーケットを視察して、その特徴は

1. スーパーマーケットは、日本に比べて「生鮮食品」の品揃えが貧弱

これは、地理的に野菜や果物は中国からの輸入に頼っていることもある

生鮮食品を中心とした「自由市場」の影響かも知れないが、魚と肉は伸びしろがある

2. 生鮮の冷凍食品は日本より豊富

消費者は冷凍肉、冷凍魚を多く利用しているようだ

3. デリカの品揃えには驚かされた

「ホットデリ」「コールドデリ」の品揃えは見事

4. パンの品揃え

揚げタイプ、焼きタイプの「ピロシキ」は日本でも通用する

研究ため、全部買いをするのを忘れてしまったスタンドショップの商品

だれか研究してください

5. 缶詰め、瓶詰、乾物

見たことない、食べたことのない肉の缶詰、びん詰めの品揃え

スーパーマーケット4店舗視察したが、ロシアでこれほどデリが発達していたことの驚かれた

「潜水艦博物館」と「ロシア料理」～ 帰国

ハバロフスクの「潜水艦博物館」



その隣には、「永遠の火」「ニコライ2世凱旋門」などがある

一応、観光名所なので中に入ってみる

C-56タイプ

中はこのような展示物がある

なにせ70年以上も経っているため、雨漏りがひどい



さらに進むと、ハッチで部屋が区切られている

機械室 いろいろなバルブが



通信室

最先端の「魚雷発射室」
寝室も一緒になっている
ベッドの上には魚雷



魚雷

発射口は4つ



この形を見ると、上海の「武器博物館」に展示されていた、潜水艦はロシア製であったことが分かった

一応観光名所ということで、さっと見てホテルに帰り、食事をすることにした

ホテルのウォーターサーバー

部屋にペットボトルや湯沸かし器がなかったため、不便に思ったが、各フロアーにウォーターサーバーが設置されている お湯もでる

使っていると意外と便利、それにエコである



ロシア料理を食べる

ロシアに来てから、ちゃんとしたレストランでロシア料理を食べていない

そこで、ホテルのレストランで、ロシア料理の定番中の定番

「ボルシチ」と「ビーフストロガノフ」をいただく

その国に行ったら、定番メニューをまず食べるようにしている

食前酒は、ウォッカならぬ「カンパリトニック、ライム添え」

カンパリはイタリアのハーブ酒だが、私の好きなカクテルだ

ウェイターに注文しても分からないので、バーカウンターに行ってバーテンに直接注文



「ボルシチ」はウクライナの伝統的なスープで、中欧に普及したポーランド、チェコ、ハンガリーなどでもよく飲まれているスープ
ビートの色が鮮やかだ



内容を調べると

ビート、玉ねぎ、人参、トマト、タンなど

使われているタンは、小さいため、子牛か豚のタンのようだ

ビート独特の土臭さがなく、さわやかで飲みやすかった

「ビーフストロガノフ」は、ウラル地方の貴族ストロガノフ家の家伝の一品と言われている
牛肉の細切り、玉ねぎ、マッシュルーム、キノコをスープで煮込み、サワークリームを加えたもの



右上のパンはスープに付いてきたもの

日本ではライスと一緒に盛りつけられるが、ここでは周りにマッシュポテトが添えられている

何やら、さわやかな酸味とシャキシャキとした触感の食材が入っている

さすがに、名物料理だけあっておいしい

いったいなんだ？

それは、四分の一くらいにカットされた、「ベビーキュリーのピクルス」であった
サワークリームは加熱すると酸味が薄くなる 酸味を残す食材として使用か
これが、濃厚なソースとよく合う

ビーフストロガノフは日本でも食べるが、この組み合わせは意外
今度、試してみようと思う



デザートは「チョコムース」と「アメリカンコーヒー」

ロシアでコーヒーを注文すると、「エスプレッソ？それとも、アメリカン？」と聞いてくる
アメリカンを注文

キレイにできている



中は、甘みの少ないフワツとしたホイップクリーム

一応、コース料理ということで、スープからデザートまで注文した
少し食べすぎの感はある これだけ、注文して日本円で、約3000円
このグレードでこの価格は安い！

4泊5日の駆け足の極東ロシア3都市めぐりだった

各都市の日本人墓地や日本人の「平和慰霊公苑」、

ウラジオストックの「君死に給うことなかれ～」で有名な、与謝野晶子の「歌碑」にも訪れることもでき
なかったが、スーパーマーケットを4店視察できたことが大きな収穫

ウラジオストック国際空港から成田空港へ向かう

中国人や中東系が好きなバッグのラップ巻きの機械

グルグル巻きにしても、開けられるときは、カットして開けられる 日本線では殆ど見かけない



空港の土産物屋 冷凍カニのむき身



冷凍いくら 冷凍サーモン



日本に持ち込めるらしいが、思ったほど安くない
出国ゲートの近くにも「ROYCE」の店舗 北海道発の「ローカル グローバル」
よく頑張っている また、黄緑色の飛行機で成田に帰る



黒い制服を着た係が、ハッチを開けて中を確認している
これで、極東ロシア3都市特集は終わり ありがとうございました